

第 47 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 24 年 6 月 12 日(火)13 時 30 分～15 時 30 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者:永田委員長、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、辰巳委員、細田委員
以上 6 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成 23 年度事業報告書(案)、平成 23 年度決算報告書(案)について
②平成 23 年度再資源化預託金等の運用評価について
③平成 23 年度離島対策等支援事業の実施結果について
④平成 23 年度の外部業務監査結果について
⑤平成 24 年度業務監査人の選定結果について
⑥ユーザー理解活動について
5. 議事録
(1)議題①について
平成23年度事業報告書(案)、平成23年度決算報告書(案)について、事務局から資料3-1から資料3-10にて説明し、案のとおり承認された。
委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料3-4で、番号不明被災自動車のフロン処理が少ないように見えるが、フロンが抜けている車輛が多いのか。

【事務局】

現時点では最終処理まで進んでいないものも多いので、何ともいえない。今後処理が進んでいく過程においては、注視していく。

【委員】

新車登録が増加しつつあるのに引取業者引取台数が同様に増加していない理由は東日本大震災の影響だけなのか。

【事務局】

震災だけではなく、平成22年までのスクラップ・インセンティブの際に使用済み自動車が増えた反動等もあると考える。

【委員】

エコカー補助金の効果や震災の影響を説明可能にするとともに、四半期や単年度だけではなくもう少し長期的な流れでマクロの動向をまとめてみせていただきたい。

【事務局】

今後の対応を検討する。

【委員】

スマートピットカードの在庫は残り続けるのか。

【事務局】

スマートピットカードのサービスを利用し続ける限り、在庫も残る。

(2) 議題②について

平成 23 年度再資源化預託金等の運用評価について、事務局から資料 4-1 及び資料 4-2 にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

資料4-2で、複数の証券会社とあるが、何社あるのか。

【事務局】

取引を行っている証券会社は7社。この7社に対して、流通量の多い国債については3社ずつグループに分けて均等になるように価格の提示を依頼している。流通量の少ない国債以外の債券については7社全社に対して価格の提示を依頼している。

(3) 議題③について

平成23年度離島対策等支援事業の実施結果について、事務局から資料5にて報告した。

<意見>

【委員】

自治体への出えん対象期間が1月締めから3月締めに移行したということか。

【事務局】

そうである。自治体からの要望で、自治体の事業実施年度と会計年度について出納整理期間を用い、同一年度にするための措置である。ただし、自治体からの第4四半期分の申請が5月となるため、JARCにおける会計処理は翌年度となる。

【委員】

前年度に完済した長期借入金とはどのような借入金か。

【事務局】

事業立上げ時の運転資金として借り入れたものである。

【委員】

調査費と理解普及活動費が予算と実績の乖離が大きいですが、平成24年度予算では、どうなっているか。

【事務局】

調査費は減らしているが、理解普及活動費は必要性を考慮して増やしている。

【委員】

100台未満の中小規模事案の件数見通しと、ASRとSRの混合事案のガイドラインにおける追記点の特徴を教えてください。

【事務局】

10台以上100台未満の事案については、138事案で2,980台であった。混合事案のASRも支援の対象であることを明記し、概算での計量を可とする旨の記載をしている。

【委員】

新ガイドラインについては自治体への周知が必要である。

(4) 議題④について

平成23年度の外部業務監査結果について、事務局から資料6-1から資料6-3にて説明し、案のとおり承認された。

(5) 議題⑤について

平成24年度業務監査人の選定結果について、事務局から資料7にて報告した。

<意見>

【委員】

業務監査については、監査の質が重要であり、価格競争入札は必ずしも適切とは言えない場合がある。また、業務監査はコンサルティングの側面もあり、契約が長期になることが望ましい場合もある。

【事務局】

今回の入札に関しては、公益法人の監査に実績のある監査法人に絞っての指名競争入札を行い、一定の質は担保している。また、自動車リサイクル促進センターは公益法人であり、入札は原則として一般競争に付すこととしていることとの整合も必要である。

【委員】

業務監査の質と競争入札の関連については、今後整理・検討していただきたい。

【事務局】

業務監査の質については確認し、検討する。

(6) 議題⑥について

ユーザー理解活動について、事務局から資料8-1から資料8-3にて報告した。

<意見>

【委員】

チラシ・ポスターの配布先はどのように考えているか。

【事務局】

昨年度と同様に関連団体・自治体を通じて、ユーザー・販売店等に配布する。

【委員】

映像放送を流す自動車教習所はどのように選んでいるのか。

【事務局】

映像配信会社と提携している教習所を対象にしている。
今年度は映像配信会社との提携の有無に関わらず、教習所の範囲を広げる活動を行う。

【委員】

子供向けのチラシを小学校で配布してはいかがか。

【事務局】

一部の小学校に配布し、反響を確認する予定でいる。

以上